



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係（毒ガス問題）第一次移送(4)(北米第一課記録 外務省外交史料館レファレンス番号：nd)
Author(s)	-
Citation	平成25年度外交記録公開(1)No.1 公開日：平成25年10月30日 外務省外交史料館管理番号：A'3.0.0.7-1(207) CD・DVD番号：H25-001
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43780
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

米北才課
記錄

(1/2 全訳)

大河原 (1/2) ^{御了り}
 石川公使 アメリカ局長
 佐藤参事官
 北米第一課長
 沖繩の毒ガス撤去発表について
 昭. 46. 1. 5
 北米第一課

1. 1月1日午前10時頃ラジオ放送は、ワシントン発UPI電を引用し米國政府は在沖繩毒ガスの毒1回撤去は1月10日より12日の間に行なわれる旨発表し左の報道が流された。

2. 直ちに北米第一課長より在米大使スナイデン公使に照会せられた。発表は明日の予定にて在米公使の leak なるべきも早速調べて返すことであつた。

GA-5

55 外務省

2

3. 別途在京UPI支局に照会せられた。米陸軍当局は31日毒ガス毒1便は1月12日ジョンストン島向沖繩を去る旨発表した。(ワシントン 143 W UPI 112)

4. このことであつた。北米第一課長より更に在ワシントン内若記者に電話照会せられた。何もまじりないが、調査の上連絡することであつた。

5. ついで同課長より愛知外務大臣に上記発表を報告の上、大河原アメリカ局長心得。小杉、後藤、村岡各秘書長にも協議の上、政府としては特に談話等を発表することはない。聞かればこれを歓迎する旨述べるとしめることすべし旨打合せた。

GA-6

外務省

6. 続いてスナイダー公使より沖縄に連絡を
 した結果なりとして、発表は11時30分に現
 地米軍より行なわれ答として、ワシントン電
 は premature disclosure なりと連絡越した。

7. 別途情文局よりの記者情報として本件発表
 を聞き、在沖縄代表部賀陽参事官に連絡中
 の北米1課佐藤参事官より、同参事官からの
 通報として発表は同日11時高年参事官
 より行なわれ旨の報告があった。

8. 発表は7.7とおり同日11時に行なわれた。

大臣秘書官
 事務次官 西山 和夫
 情報局長 藤田 隆
 参事官 北米第一課 藤田 隆
 報道課長 藤田 隆
 アメリカ局長
 参事官 北米第一課

毒ガス指去内題
 (ハズシ指記者会見)

46. 1. 12.
 米北1

1. 1月12日付 共同電 11. ハズシ指が同日の
 記者会見に於いて、質問に答へ「沖縄か5.9
 沖2次毒ガス兵器指去は ジョージア島の貯蔵
 施設の建設が全部終了 72年初めまで完成
 (た11, どの趣旨を述べた旨 報い2.1.3.)
 (別添参照)

2. 在沖縄準備委員会に本件、真偽につき 照会
 せられた。(準備委より 鈴木、岡野両書記官
 が記者会見に立会った由)、右記事は誤りなり

印
の
ン
タ
連
送
す
の
(1/12)

として記者会見該当部分の様を

次へより連絡越した。

問： 第2回以降の毒ガス移送はどのようなか。

答： ジョンスン島の施設が完成したから

移送する。

問： 移送するガスの種類はどのようなか。

答： マスク-ド、ガスの残りとして神経ガスの一部

~~とある~~ ^{とある} になり。

問 (気色はなし)： 神経ガスの一部 ^(二七) とある。

大部分は神経に残り ^(二七) とある。

答： 是より申し上げたい。全部移送する。

ただ第2回は限られた量のマスク-ドガスの

残りとして神経ガスの一部 ^(二七) とある。

以上のとおり、ハイズ少将は 1972年初め

に実施し、^(二七) といふか如きことは

おらず、移送時期については従来

の説明を ^(二七) 変えていっている。

大臣秘書官 *KH/20*

事務次官秘書官

アメリカ局長 *W*

参事官 *W*

北米第一課長 *W*

毒ガス撤去に関する情報

46. 1. 13
北米1

今日 (15時) (10時30分) 毒ガスはトレーラー10台で撤去され手交

せられた。実際には9台のトレーラーで運ばれた (10台(105台、12日4台))

この情報に基づき、沖縄準備委に突き詰められた。午後3時の電話連絡次のとおり。

1. 天願棧橋では高等弁務官、琉政州長、主席、知念副主席、本土専門家、琉政招請

田村、小山内両氏等が毒ガスの梱包を行なった。なお別途、少将の招きにより

知念副主席、甘利35在(本土専門家)、琉政招請専門家が

のため知花弾薬庫を視察したが、毒ガスの積残はみられなかった。

2) 9台のトレーラーのうち、8台については各車両毎に42 Pallets (1 palletには84の

ガス弾が梱包されている。なお、1 palletの重さは796 lbs.) ~~積残は~~ 残り一台

には41 Palletsが積込まれた。

3) 従って全体で377 Palletsとなる

が、全体の重量は300,092 lbs (= 150.046 short ton) となる。

4. 10台のトレーラーが9台となったことにつき、ブローカー報道官は、理物と本部との

ミスコミュニケーションであると述べた理由。

5. ~~上記事実の本土に琉政招請専門~~

~~家は納得した理由~~

5. ランポート高等弁務官も、自分は10台
と了解していたが9台と聞いて驚い

ている。疑惑を与えたことは申し訳
ないので、たとえ輸送船の出発を

遅らせても屋良主席に十分説明し
納得してもらいたい、と語、た由。

本土及び琉球政府招請専門家
は、上記の本件事実関係につき納

得した由。